

明治三十六年六月三十日

南海部内鹿兒島布教所増築及遷靈式舊六月十四日移轉式翌日願(當日旗提燈御酒信徒へ授與願)

さあ〜尋ねる事情〜、さあ心處〜心だけの事情ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

同布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はせん〜事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうと一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜の心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあこれよりかはる處一つみな〜これからどうでもなんでも一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月三日

高安部内泉郡出張所移轉及擔任變更願

さあ〜たづねる事情、たづねる事情前々事情一つ、さあ又一時事情をもつて一つ理たづねる、尋ねるにはみな〜それ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあかはる處ねがひどほりゆるそ〜、又人かはる處一つさあ心どうでもなんでもこれからといふ一つ精神どうでもといふ一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

さあ〜尋ねる事情〜、せん〜事情一つさあ又一時事情をもつて一つ理たづねる、尋ねるにはみな〜それ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、かはる處ねがひどほり〜みな〜心の精神の理にしてゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月三日

北部内弘道布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、せん〜事情一つさあ又一時事情をもつて一つ理たづねる、尋ねるにはみな〜それ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、かはる處ねがひどほり〜みな〜心の精神の理にしてゆるそ〜、さあゆるしおかう。

並に教會修繕願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほり〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月三日

高知部内川之江支教會舊毎月二十日信徒靈祭執行願

さあ〜尋ねる事情〜、たづねる事情は、さあみな〜心といふ〜、そと〜いふ中といふ、なかそとまんぞくてある、事情ねがひどほりねがひどほりすみやかゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月四日

撫養部内豊川出張所を改稱の上擔任變更及再願の願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ事情いかなる事と思ふやろ、一つこれからみな〜精神上どうでもかうでも一つ精神、精神の理あればこそ遠くしゆんじよいとはん理はこぶ、どうでもかうでもいくたびでもとしんじつの心をさだめてこそ事情はねがひどほり〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月七日

山名部内入間布教所移轉及擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ、理あつまりてかうといふであらう、さあかはる處一つねがひどほりゆるしおかう〜、又一つ人はる處、かはる人の心これよりどうでもなんでも一つ心の精神どうでも精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月七日

北部内市場布教所新築地へ移轉願 (鎮座祭開五月二十日開篷式翌日神樂々器六點入社祭毎月十日説教日毎月三日、當日信徒へ御神酒御供餅等授與願)

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月九日

兵神部内伊丹出張所鎮座祭舊六月十四日夜奉告祭翌日旗提燈願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしお

かうく、さあゆるしおかう。

一六〇

明治三十六年七月十日

郡山部内早夏出張所移轉の上浮羽布教所と改稱願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はぜんく事情一つ又一時事情をもつてかうと一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれく心といふ理あつまりてかうといふてあらう、みなくこれよりの精神どうでもかうでも精神なくば精神一つ理はあらうまい、みなく精神の理にゆるそく、さあゆるしおかう。

浮羽布教所擔任變更願

—(6780)—

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情をもつて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれく心といふ理あつまりてかうといふてあらう、かはるといふ人にんの心一つの心、どうでもなんでも心一つの精神どうでも心一つの理にゆるそく、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月十日

山名部内釜田出張所へ擔任居住願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情は一日の日をもつて一つ理一つ心尋ねる、尋ねるには一つ心しようらい、しようらいといへば理末代といふ、一日の日の心しようらい一つ心理、ねがひどほりく、さあくゆるそく、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月十日

中津部内田川布教所設置願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほりく、さあくゆるしおかうく。

本局添書下附次第地方廳へ出願の願

さあく尋ねる事情はすぐくすぐと。

明治三十六年七月十一日

高知部内川之江支教會増築願

一六一

—(6781)—

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月十一日

甲賀部内桑名出張所役員室増築願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年七月十二日

郡山部内日東布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜すぐと。

明治三十六年七月十二日

河原町部内相樂出張所新築願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほりゆるしおかう〜、さあみな〜心だけ〜みな〜心だけゆるす〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年八月二日

南紀部内波切出張所屋根替並に土塙築替願

さあ〜尋ねる事情〜、よぎなき事情〜、ねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

明治三十六年九月十八日

奈良支教會擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜みな〜のものそれ〜これ〜道といふ理といふ、なによの事も一つ〜心だけやう〜一つ道をさだめてかうと精神といふ、しようらいの心にもあらう、一時尋ねる處よぎなく事情であらう、よぎなくしきり

ての處どうでもかうでも精神をさだめ、一日の日さだめたのしめば樂しむ理ある、
 一つたのしんですれば一粒萬倍にもかへす理である、それとあれと精神もある、な
 つてもならいでもどうでもそれ／＼の理なくばならん、さき／＼の場所もあらう
 〳〵、尋ねる處はよぎなく又一つ理おほくの中、なんでも精神なけりやならん、一
 つようき、わけ、一粒萬倍といふ、又めん／＼もかうと精神、あの人はかうやどう
 や、それはいらん、みなそれ／＼一時すみやかなの理治めかたはねがひどほりにゆる
 しく／＼、あと／＼しつかり／＼あと／＼しつかり／＼。

本局の添書下附次第地方廳届差出願

さあ／＼そりやすくと／＼。

明治三十六年九月十八日

日本橋分教會長中臺庄之助妻たけ出直し後、役員の治め方前會長十年祭執行に付、増野正兵衛出張心得の

願

さあ／＼尋ねる事情／＼、とほく年限幾年むつかしい、さあ／＼ぜん／＼はなにも

かもほつてしまふてよほど道を盡し、ようはたらいたものである、たれかれともい
 はん、心にさとす、それ／＼心をうつしてのはなしは、ようこれ筆にくはしくかき
 とりてくれにやならん、なかと／＼まち／＼では中の道、一つ理なげく、處々の理
 やう／＼道もはつたつの中、一つ理これもかうしてどうして、道のやう／＼はこぶ
 理を聞分けてくれ／＼、どうも一時の處事情どうかたより／＼、日々の處一つ
 の理はありながら、ながれてしまふたも同じ事、なげかはし／＼、さあ／＼十年以
 來あとかたのない處聞分け、道といふ一つの理心のたつた、さあ／＼十年以來聞分
 けてくれ／＼、なによの事もうちよつて一つ、人といふかはりといふ、さあ／＼こ
 れとそれとやれ／＼このものやもう事情一つ理によつてゆかにやならん、これみな
 〳〵心さつしてくれ／＼、さあ一時の處どうやらうかうやらう、みな／＼の心であ
 らう、さあ／＼たつてしまふてすぎてからどうもならん、道といふ理といふ、なげ
 くも聞分け／＼、さあ／＼これ十年さきとおもへばながい日たつてしまへば、みじ
 かいもの、一つむつかしい、あと／＼一つ事情、それ／＼道といふものはなくばな

らん、心といふ理といふ、これやどれや、一つどうでも一粒萬倍の理さとしおかう、さあ道といふ道といふものはむつかしいやうでなんでもない、これおもふてこんなんの場所をもとほる、き、わけ理の道、さあ、道といふ理といふを定め、ほんにさうでなげにやならんといふは道の心である、なによの事もをさめてくれ、これもと臺にある、ところ、國々それ、元といふこれよく聞分けてくれにやならん、又治まらんやならん、道の理この理をさめ、どうでもはこんで事情萬事の理に治め、萬事の處にかたどり、なによの事どうであらうかうであらうと古き物しらべてかうとするは天の理の道であらう、さあ、萬事の不都合の中なきやう、それ、はこんでかうとしんじつの理をうつしてくれ、あと、をさめにやならん、ならん時の理ほどあつてい理におもふ、萬事の處しんじつの心を治めてやつてくれにやならん。

押して、第二勘藏の處御知らせ被下す哉

さあ、はなしの理といふものは、もう一つわからん、ようき、わけ、あ

と、すぎたものはこれはずいもなし、なれどすぎたものに心をさしいつてくれにやならん、中にそれこれ中になんにある、さき、その精神の心を見定めて、これといふて治めてか、らにやならん、一たんかうしたどうしたといふ理をたてたぶにやをさまりやせん、古き中に道の古きものある、そのもの心をよせてはこべば、むつかしいものをさまるものや。

明治三十六年九月十九日

船場部内船穂出張所擔任變更願

さあ、尋ねる事情、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみな、心といふ理あつまりてかうといふてあらう、一つ事情ねがひどほり、しばらく事情ゆるしおかう。

明治三十六年九月十九日

北部内二名島出張所移轉願

さあ、尋ねる事情、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつ

てかうと一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあ／＼かはる處一つみな／＼これよりといふ精神なんても精神／＼一つの理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月十九日

撫養部内臺府布教所設置願

さあ／＼尋ねる事情／＼、さあ尋ねる事情はねがひどほり、さあゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ／＼尋ねる事情はすぐ／＼すぐと。

同日、同部内麻植布教所擔任變更願

さあ／＼尋ねる事情／＼、前々事情一つ又一時事情あらためかへ一つ事情これよりといふ、かはる人といふ、みな／＼それ／＼よりやふた中の理といふ、一つ理はいふまでの理、みな／＼の心これよりの精神／＼の理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

う。

明治三十六年九月十九日

西部内三軒家出張所移轉願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあこれよりといふかはるといふ事情、みな／＼の心の精神心一つ精神の理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

同日、同部内倭文出張所移轉願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はねがひどほり／＼、さあ／＼ゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十日

山名部内加茂出張所月次祭新十三日入社祭十三日説教日三の日願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はねがひどほり／＼、さあ／＼ゆるしおかう。

う、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十日

高安部内長野布教所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふ、さあこれよりといふ、かはるといふにん〜の心、どうでもなんでもこれよりといふ心の精神、どうでも精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十日

河原町部内丹湯布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜さあすぐと。

同日、同部内千代林布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜さあすぐと。

明治三十六年九月二十日

南海部内知多布教所入社祭毎月三日、教祖御分靈從來祭室奉祀の處被床跡へ御遷し願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ事情はねがひどほり〜、さあゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十日

甲賀部内入間川布教所説教日舊三日二十三日入社祭同日執行願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう、さあ〜ゆるしおかう。

明治三十六年九月二十一日

郡山部内大牟田布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふてあらう、さあこれよりかはる處、みな〜精神どうでもなんでもといふ心一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

大牟田布教所を柳田と改稱願

さあ〜尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

同日、同部内九筑布教所移轉及擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふてあらう、さあかはる處〜みな〜精神どうでもなんでもといふ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう、又一つかはるにんといふ、なんでもどうでも一つ精神心

一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

同日、郡山部内野母布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふ、又かはるところ一つみな〜の精神これよりどうでもなんでもといふ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十一日

南海部内湊布教所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つよぎなくといふ一時もつて事情あらためかうといふ理しばらく〜事情ねがひどほり〜ゆるしおかう〜。

明治三十六年九月二十一日

甲賀部内人間川布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてか

うといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〱心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあ〱かはる一つ理といふ、みな〱心の精神どうでもなんでも心一つ精神〱の理にゆるそ〱、さあゆるしおかう。

同日、同部内犬居出張所増築願

さあ〱尋ねる事情〱、尋ねる事情はねがひどほり〱ゆるそ〱、みな〱心だけ〱何かのところ心丈けゆるすのやて、さあ〱ゆるしおかう。

同日、甲賀部内西多摩出張所新築願

さあ〱尋ねる事情〱、尋ねる事情はねがひどほり〱にゆるしおかう〱、さあ心だけ〱、心だけやて、さあ〱ゆるしおかう〱。

明治三十六年九月二十二日

郡山部内鞍岡布教所設置願

さあ〱尋ねる事情〱、尋ねる事情はさあ〱ねがひどほり〱ゆるそ〱、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〱尋ねる事情はすぐ〱。

明治三十六年九月二十二日

河原町部内天童出張所移轉及再願の願

さあ〱尋ねる事情〱、尋ねる事情は前々事情いかなる事情おもふ處、さあ〱だん〱一つどうでもなんでもみな〱おもふ心の精神、いかなる精神處かへて事情道の心〱事情精神やて、精神の理にゆるそ〱、さあゆるしおかう。

同出張所へ藤五右衛門所有の地所家宅獻納願

さあ〱尋ねる事情〱、一つ心といふ、どうしてかうしてこれといふ事情すぐ〱、事情ゆるそ〱、さあゆるしおかう。

同日、同部内桐ノ庄布教所遷座式舊八月十八日願(尙月次祭同十八日説教日新一日十五日鳴物六器御許願)

さあ〱尋ねる事情〱、さあ事情はねがひどほり〱、さあゆるしおかう〱、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十二日

北部内岡山支教會へ擔任及家族共住居願

さあ〜尋ねる事情〜、一日の日をもつて尋ねる事情、一つ理一つ心しようらい、しようらいといへば理は末代といふ、又々みな〜の心といふ理あつまりてかうといふであらう、一日の日の心しようらい心の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十二日

治道部内古町布教所開筵式願（尙入社祭毎月十六日樂器六點、節會一月四日説教一日十一日二十一日執行願）

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十四日

鄂山部内西大分出張所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうと一つ理尋ねる、尋ねるにはみな〜それ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、又一つかはるにんといふ、これよりといふ、どうしてもなんでも一つ心の精神、どうしても精神、精神一つの理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十六日

本席様の裏の方へ一丈二尺に四間の物入建築願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ事情はなんとといふやうにしてやつてくれ〜、さあ〜事情ゆるそ〜。

明治三十六年九月二十六日

河原町部内平安西布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜すぐと。

明治三十六年九月二十六日

村田豊吉三十三歳大縣部内澤の井平二郎妹りと二十歳縁談願

さあ〜尋ねる事情〜、えんだん一つ一條、さあ〜事情かうといふ、どうといふ心、心さへたがひ〜の心、親々心事情、時々心理といふ、さあ〜そのま〜
〜すぐとはこんでやるがよい〜。

明治三十六年九月二十七日

大縣部内光榮出張所を永光出張所と改稱の上再願の願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

同出張所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうとい

ふであらう、さあ〜又一つかはる人かはる人一つ心、さあ〜これからといふ、
どうでもなんでも一つ精神心一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月二十九日

河原町部内愛宕布教所移轉及擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあかはる處又かはる人かはる人の心、これよりといふ、どうでもなんでも一つ精神心一つ一つ精神の理にゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年九月三十日

城法部内豊夫布教所鎮座祭本月十二日開筵式同十六日願 (尙入社祭毎月舊十三日靈祭及説教日毎月二十

日鳴物六點御許願)

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月九日

荻津郡内遠阪出張所擔任武田松太郎死亡に付足立熊吉に變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情ぜん〜事情、一つよぎなく又事情一つあとにいふ、かはる人といふ、かはる人の心これよりどうでもなんでも精神〜、精神の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月九日

御津郡内九條布教所増築及修繕願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるしおかう〜、さあ〜心だけ〜、心だけゆるすて、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月十日

甲賀郡内赤山布教所入社祭毎月二十日説教毎月十三日鳴物六點御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあゆるしおかう〜。

明治三十六年十月十二日

山名郡内天方布教所入社祭舊十三日説教新五日二十五日鳴物六點御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月十二日

高知郡内佐賀浦布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はぜん〜事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあこれよりかはる處、みな〜それ〜精神どうでも精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

同布教所へ吉本猪三郎の家屋獻納願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はかうといふ一つの心理はすぐ〜うけとる〜、さあ事情ゆるそ〜。

明治三十六年十月十三日

山名部内周智支教會教祖殿建築願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるそ〜、みな
〜心と心だけゆるしおかう。

舊十月十五日鐘座式執行願

さあ〜尋ねる事情〜はねがひどほり〜、さあゆるそ〜、さあゆるしお
かう。

明治三十六年十月十三日

若津部内東地布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜さあすぐと。

明治三十六年十月十三日

兵神部内三海布教所増築願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるそ〜、
さあゆるしおかう。

明治三十六年十月十三日

北部内小楯出張所移轉及擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情をもつてかうとい
ふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであ
らう、かはる處はねがひどほり〜ゆるしおかう、又かはる人といふ人の心一つこ
れよりどうでもなんでもと心一つ精神心一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしお
かう。

明治三十六年十月十三日

日本橋部内上武出張所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふてあらう、さあかはる人一つ心、これよりどうでも一つ心精神心一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月十四日

郡山内白川出張所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふてあらう、さあ又かはる一つ事情みな〜精神これよりなんでもとおもふ一つ精神にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月十四日

山名内福島支教會増築願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほり〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

う。

明治三十六年十月十五日

撫養分教會土佐卯之助の娘たつの(十九才)富松の二男猶造(二十一才)と縁談の願

さあ〜たづねる事情〜、縁談一條、さあ〜たづねる處〜、今一時の處、どうしてかうしていらん、いかな事も事情さとしおくによつて、さあ〜聞いてくれ、ゑんだんと云ふ、一時處べつ〜の事情にせく事いらん、せいたぶにやならん、しばらくの處じつと〜、せけば身上と云ふ、身上にかゝる、さあよう聞分け、ながくの事情、いかなる事情、一つ心と云ふ、理と云ふ、長くたのしみ、又々事情〜せく事いらん〜、せいたぶにやならん、これだけさとしたら、如何なる事もわかるやらう。

押して、暫らくじつとする願

なあせく事いらん〜、せいたぶんにやなにもならん、せいてはどうもならん、時と云ふ、しゆんといふ、年限の相当と、又もうこれなあ何十になあ、もうなにもと

いふ日を待てく。

明治三十六年十月二十日

島ヶ原分教會長後任選定願

さあくくだんく尋ねる事情く、尋ねる事情はこれだんくみなく心からとりては一つ理よぎなくよぎなくであらう、又一つだんくそれく中といふ理これまで數年來の事情、どうしてもならん事情でありた、さあ一日おくり又おくりくく日をおくりてきた、日なあなんたる事であるといふ、心はやまくの理であらう、たへられん事情であらう、そこでみなくの精神どうしてかうしてと思へども、一先の處はくらやみどうやうであつた、ひとりの心すまん、あ、なんたる事となあ、なれどこれより明かな道をつけて、それくたのもしくといふ一つ精神をさだめてもうなんねんたちたら、これまんど末代の理をつくりとるも精神一つの道である、古き事情にもしらししてある、ねがふ處の理はしばらくく順序の理よう聞分け、一つしつかりくとあらため事情一つ理一つの心、なによの事もようき、

—(6806)—

わけ一つ理ありた、さあすつきり一つあらためてかうといへばさあ神の日々守護といふ、あんじる事いらん、精神一つの道がつくほどに、しつかりとたのむてく。

明治三十六年十月二十一日

山名部内遠本支教會古家修繕並に増築願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほりく、さあくゆるしおかうく、さあゆるしおかう。

同日、同部内横須賀出張所鎮座祭舊九月十四日秋季大祭舊十月十五日の處本年に限り舊九月十五日に願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほりくゆるそく、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月二十一日

北部内湖南布教所設置願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほりく、さあくゆるしおかうく、さあゆるしおかう。

—(6807)—

本局添書下附次第地方廳出願の題

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜さあすぐと。

明治三十六年十月二十二日

大江部内肥之國支教會月次祭舊二十日入社祭舊十日説教日新六日二十六日御紋衣御動道具御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月二十三日

湖東部内東久留米出張所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はぜん〜事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみな〜それ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあかはる處これよりみな〜理精神どうしてもなんでも精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

同出張所役員橋本吉家族共出張所へ入込み願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ一日の日をもつて尋ねる事情一つ理一つ心、一つ理はさあ〜しようらい〜といへば理末代といふ、一日の心の心しようらい一つ心事情どうしてもなんでもとおもふ心の理、事情精神一つ理はゆるそ〜、さあゆるしおかう。

同日、同部内肥玉出張所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあかはる處これよりみな〜精神心の精神理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月二十六日

奈良支教會月次祭舊二十八日の處舊二十三日、靈祭新十六日の處入社祭靈祭舊十二日に願

さあ〜たづねる事情〜、事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月二十六日

中和部内西州出張所移轉願

さあ〜〜尋ねる事情〜、たづねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあ〜これよりかはる處、みな〜精神どうても精神〜の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月二十七日

甲賀部内浪越出張所月次祭番十六日の處番十八日説教六日二十六日の處番八日二十八日に改め願

さあ〜〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月二十八日

兵神部内柳井出張所地方廳再願の願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ尋ねる事情どうも一つなある事情だん〜みな〜

心おもふ處一時こんなのみちであつた、あらため一つ理それ〜心といふ理といふあつまつた一つ事情これよりどうてもなんでも心精神、心精神の理にねがひどほり〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月二十八日

甲賀部内浪越出張所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はぜん〜事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理といふあつまりてかうといふであらう、さあこれよりかはる事情、みな〜これよりの精神一つどうても精神心一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月二十八日

八木部内三佐布教所移轉及擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであ

らう、さあかはる處事情ねがひどほり／＼にゆるしおかう／＼、又かはる一つ人といふかはる人一つ心これよりどうでもなんでも心一つ精神心一つ精神の理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

明治三十六年十月三十一日

御津部内新街出張所へ地所寄贈承認願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は一つ心、さあ／＼心一つ事情、事情すぐ／＼すぐとうけとる、事情ねがひどほり／＼ゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

新街出張所移轉願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあかはる處一つ事情みな／＼精神なんでもどうでも心精神の理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月二日

山名部内上毛出張所改祭日願 (月次祭舊十二日入社祭新廿六日説教日六日十六日廿六日鳴物九つ御許鎮座

祭舊十月十一日夜奉告祭翌日執行願)

さあ／＼／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情さあ／＼ねがひどほり／＼、さあゆるしおかう／＼、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月二日

鳥ヶ原部内日高郷布教所設置願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情、さあ／＼尋ねる事情たのしみであらう／＼、事情ねがひどほり／＼、さあ／＼ゆるしおかう、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳願

さあ／＼尋ねる事情はすぐ／＼さあすぐと。

明治三十六年十一月三日

撫養部内名高出張所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、たづねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあ又一つかはる後々の理一つそれ〜事情これよりなほ一つどうてもなんでもといふ一つの精神かはる一つの心精神事情ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月三日（舊九月十四日）

梅谷四郎兵衛新十月廿八日の夜より腦が病め左のあばらが甚だ痛み苦しきに付願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ身上事情心得ん、いかなる事であらう、さあ〜みな〜それ〜内々他にもそれ〜どういふ事であらう思ふ處、身上事情こんな事どういふものであらう、いつ〜一つ事情、身上にかゝる處、いかなる事と、どういふ事思ふ處〜、よく一つ事情聞分け、年來の理思ふ、いかなる理おもふ、いねん一つ年限年來〜心一つ一時心事情一つよくしやんをしてみよ、一時身上がせまる、どうもならん、どうもならん身上事情、これそれ他にどういふ處もみな〜

ある、そこで見てどう聞いてどう一つきゝわけ、よう一つとりなほし、何がちがふ、かがちがふ、ちがふかちがはぬか一つ、さあ萬事の處理一つそれ〜同じ理である、さあよくきゝわけ、身上からせまればどんな事もこんな事も思ひだし、かう云ふさしづあれば一つとりなほし、聞きなほし、一つよくきゝわけ、年來の理を聞きわけ、一つ理心にをさまればあんじる事いらん、あんじたぶんにやならん、身上さああんじる事いらん、さあ何かの事もまだ〜といふ、何がどう、これがどう、たのしみは十分の心に治め、そこでよう聞分け、他に事情思ふ、身上はあんじる事いらん、さああんじたぶにやならん。

明治三十六年十一月十日

山名部内伊那支教會を美濃支教會と改稱願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

地方廳再願の願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情いかなる事であらう、一時尋ねる處一つ心これよりどうでもなんでも一つ精神みな〜一つ精神理一つ事情ねがひどほり〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十一日

河原町部内平安西布教所入社祭舊廿二日説教十日十五日鳴物六器御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜さあゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十二日

東分教會理事権卯之助教會へ移住願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情、さあ事情はねがひどほり〜さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

後取纏等にて五六日後れます處願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はゆるしたるによつて、いつなりと心しだいにはこ

んでやるがよいて〜。

明治三十六年十一月十二日

高知部内中國出張所開設奉告祭舊十月六日願 (尙月並祭舊毎月六日説教日舊毎月六の日鳴物御紋御許願)

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情さあ〜ねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十三日

甲賀部内角館出張所月次祭舊八日説教日舊十八日廿八日鳴物御紋衣御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

同日、同部内院内出張所月並祭舊七日説教日舊十七日廿七日鳴物御紋衣御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう、さあゆるしおかう。

同日、同部内毛國布教所入社祭舊九日説教舊十九日廿九日鳴物六點御紋衣御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十四日

甲賀部内角館出張所擔任變更願

さあ〜〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあかはる一人かはる一人これよりどうでもなんでも一つ精神どうでも精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう

明治三十六年十一月十六日

山名部内飯能布教所編座祭舊十月四日願 (尙入社祭毎月舊五日説教日毎月新十五日廿五日鳴物六器御紋衣御許願)

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はさあ〜ねがひどほり〜ゆるしおかう、さあゆるしおかう。

教堂の東北の方へ井戸一個掘る願

さあ〜尋ねる事情、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十六日

撫養部内喜頭布教所編座祭舊十月十一日開筵式翌日願 (當日御神酒供餅信徒へ授與鳴物六器提燈旗、入社祭舊毎月十二日説教日同廿六日節會同正月十一日御紋衣御許願)

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はさあ〜ねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十七日

山名部内忍町出張所編座祭舊十月九日夜奉告翌翌日願 (尙月並祭毎月舊十日入社祭是迄毎月舊十日の處新廿六日に改め説教日毎月六日廿六日の處六日十六日廿六日、鳴物一切御紋御許願)

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はさあ〜ねがひどほり〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十七日

北部内郷町支教會新築願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるそ〜、さあ〜心
だけやで、心だけゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

舊九月廿九日より地ならし石搗普請手斧始木造出来次第上棟式願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はゆるそ〜、さあゆるしおかう。

同新築落成の上移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるそ〜、さあゆるし
おかう。

舊十月十四日鎮座祭翌日奉告祭當日信徒へ御神酒及赤飯授與願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、
さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十七日

梅谷部内北野支教會擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてか
うといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうとい
ふであらう、さあ事情はねがひどほり〜當分〜事情ゆるしおかう〜、さあゆ
るしおかう。

明治三十六年十一月十八日

山名部内入間布教所入社祭舊十七日の處舊七日に改め願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十八日

河原町部内誠道布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はさあ〜ねがひどほり〜ゆるしおかう

く、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあく尋ねる事情はすぐくさあすぐと。

同日、同部内八東出張所を大根出張所と改稱の上移轉及擔任變更の上再願の願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はぜんく事情なある事と思ふ一つ事情、又々一つ時よりよふた中といふ、どうしてもなんでもこれよりといふ、みなく精神時々精神の理にゆるそく、又かはる人といふ人の心、これよりどうしてもなんでもといふ精神心一つの精神の理にゆるそく、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十八日

南海部内三舞出張所教祖御分靈教堂の中段へ遷座願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情さあく心だけ事情ゆるそく、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十八日

櫻井部内佐奈布教所擔任復職願

さあく尋ねる事情く、ぜんく事情一ついかなる一つ事情、みなく心といふ理あつまりてかうといふ一つ理、さあくこれよりみなく事情といふ心の理である、さあく尋ねる處はねがひどほりに理ゆるそく、みなこれよりの精神どうしてもなんでもといふ精神の理にゆるそく、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月十九日

本席様居宅の玄關前へ北塙の處廊路門建築願

さあく尋ねる事情く、だんくをひくさあ一日の日といふもの大變事情おもふ、二年三年をひく日をおくり年限事情といふ、どうしてかうして事情はおもふやうにはこんでやるがよいく、さあゆるそく。

明治三十六年十一月十九日

敷島部内紀西布教所建築願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあ〜心だけ〜、心だけゆるすて、ゆるしおかう〜。

同日、同部内巽布教所建築願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はさあ〜ねがひどほり〜ゆるそ〜、さあ心だけ〜、心だけゆるすて、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月二十日

甲賀部内江川出張所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はぜん〜事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、たづねるにはみな〜それ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあこれよりかはる處、みな〜精神どうでもなんでもといふ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月二十二日

平安部内柏崎布教所岩槻へ移轉し岩槻布教所と改稱願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はぜん〜事情一つ又一時事情をもつてかうと一つ尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてこれといふ、これよりみな〜なんでもどうでもといふ、みな〜精神〜の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

入社祭舊毎月八日説教日新七日十七日六つ鳴物願

さあ〜尋ねる事情、ねがひどほり〜、さあゆるしおかう〜。

明治三十六年十一月二十三日

芦津部内津和出張所移轉及擔任守田種吉に變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情前々事情一つ又一時事情もつてかうと一つ尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心あつまりてこれといふ、かはる處はねがひどほりゆるそ、又かはる〜人といふ人の心一つ精神心一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月二十五日

兵神分教會表門建替願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はさあ〜ねがひどほり〜、さあ〜ゆる
しおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十一月三十日

兵神部内飾東支教會教祖御分靈新築御殿へ御遷座舊十月三十日夜奉告祭翌日願（當日印旗提燈併立願）

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

同教會式場へ天窓設け度願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月一日

兵神部内龍野布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はさあ〜ねがひどほり〜、さあ〜ゆる
しおかう、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜さあすぐと。

明治三十六年十二月二日

兵神部内馬町出張所教堂増築及教祖殿新築落成式舊十月廿日夜御遷座執行翌日信徒へ御酒御供授與願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月四日

河原町部内西中布教所開筵式十二月八日願（尙入社祭毎月舊廿日説教日毎月三日十三日廿三日鳴物六つ

願）

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月五日

河原町部内今演出張所遷座式本月十九日願（尙月並祭毎月舊十九日説教日（月十九日鳴物及御紋願）

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月八日

治道部内口之津布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜さあすぐと。

明治三十六年十二月九日

大江部内養道布教所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて理

尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあ
かはる人といふ、さあ事情どうでもなんでも一つ心の精神心一つ精神〜の理にゆ
るそ〜、さあゆるしおかう。

同布教所入社祭舊毎月十八日説教日毎月一日十五日鳴物六つ御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はさあ〜ねがひどほり〜ゆるしおかう
〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十一日

南紀部内新鹿布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はぜん〜事情一つ、さあ又一時事情をもつ
てかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかう
といふであらう、これより一つ事情かはる處みな〜心といふ、これより心精神一
つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

舊十一月十日移轉奉告祭願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十二日

東部内堤郷布教所新築落成に付十二月廿六日夜鎮座祭翌日開筵式願（當日旗提燈併立信徒に赤飯及鏡餅授與願）

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

同日、同部内蓮田支教會來る一月四日奉告祭執行願（當日信徒に鏡餅授與旗提燈併立願）

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

同日、同部内関戸布教所入社祭舊十五日説教新六日十九日鳴物黒御動衣御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十二日

中河部内眞道布教所入社祭舊十九日靈祭舊五日説教舊十五日鳴物黒衣御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十三日

山名部内石田布教所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は一つ、さあ〜又一時事情をもつてかうといふ理一つ尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうと一つ心理、さあ〜これよりしばらく事情といふ、事情みな〜心早くの心まつがよい〜、事情ねがひどほり〜しばらくの處、事情理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

同日、同部内太井布教所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つよぎなく事情といふ、又一時

事情をもつてかうといふ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心といふ理あつまりてかうといふであらう、又一つこれよりかはる一つ人心といふ、なんでもどうでもこれより一つ精神どうでもといふ精神の理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

同日、山名部内山梨出張所事務取扱人選定願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はぜん／＼事情よぎなく事情といふ、又一時事情をもつてこの理尋ねる理、みな／＼心中といふであらう、事情早く話するやう、みな／＼心いそいで一時事情ねがひどほり／＼にしばらくの處、さあ／＼ゆるそ／＼ゆるしおかう。

明治三十六年十二月十三日

新潟縣内新河沼布教所設置願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はねがひどほり／＼、さあ／＼ゆるしおかう／＼、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ／＼尋ねる事情はすぐ／＼さあすぐと

明治三十六年十二月十三日

中津部内田川布教所移轉願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみな／＼それ／＼心といふ理あつまりてかうといふであらう、さあこれよりかはる處事情、さあみな／＼心精神これより精神心精神の理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

同布教所移轉式舊十一月七日執行願(尙入社祭舊七日説教日舊十七日鳴物六つ御許願)

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はねがひどほり／＼、さあゆるしおかう／＼さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十五日

山名部内茂原布教所入社祭毎月七日説教十七日廿七日鳴物六つ御許願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はねがひどほり／＼、さあ／＼ゆるしおかう

く、さあゆるしおかう。

同日、同部内中根布教所入社祭毎月七日説教日十七日廿七日鳴物六つ願御許願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほりく、さあくゆるしおかう
く、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十五日

撫養部内中道出張所鎮座祭十一月卅日開筵式翌日願（尙月次祭毎月一日入社祭及説教毎月十五日鳴物及御紋衣旗提燈、當日御神酒及御供授與、舊正月二日節會御許願）

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほりく、さあくゆるしおかう
く、さあゆるしおかう。

同日、同部内板野布教所鎮座祭十一月八日開筵式翌日願（鳴物旗提燈、當日信徒へ御神酒御供授與入社祭毎月九日説教毎月三日九日、節會舊正月三日執行願）

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほり、さあくゆるしおかう
く、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十五日

南紀部内波切出張所擔任變更願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情は前々事情一つよぎなく又一つ事情をも
つて事情を尋ねる、これより事情かはる一人これよりどうでもなんでも一つ心精
神、さあくどうでも精神、精神理にゆるそく、さあゆるしおかう。

波切出張所舊毎月五日執行の處毎月廿日と變行執行、毎年節會廿日の願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほりく、さあゆるしおかう
く、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十六日

山名部内西原布教所を北條と改稱擔任變更の上地方廳再願の願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情は前々事情一ついかなる事と心得處、又それ
く一つどうでもなんでも一つ事情精神、精神心の精神事情ねがひどほりく、さ
あくゆるしおかうく、さあゆるしおかう。

同日、同部内更科布教所入社祭毎月四日説教日毎月十四日廿四日鳴物六器御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は、さあ〜ねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

同日、同部内犬居出張所月並祭舊十三日説教新三日の日入社祭十三日の處廿三日に変更、鳴物一切御紋衣願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

犬居出張所來る舊正月十二日鎮座祭執行願

さあ〜事情はねがひどほり〜ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十六日

中河部内春近出張所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つよぎなく又一時事情、さあこれより心一つ理もつてかうといふ一つ事情、さあ〜尋ねる處、人かはる處人のかはる一つ心これよりどうでもなんでも精神心精神心一つ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

あゆるしおかう。

明治三十六年十二月十六日

新潟部内別海府布教所月並祭舊廿三日説教日廿五日鳴物六器御許願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十七日

撫養部内東河出張所移轉及東河布教所と改稱の上地方廳再願の願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情、さあいかなる事とおもふ處、これよりみな〜それ〜心といふ理あつまりてかうといふ、どうでもなんでも一つ精神、これどうでもといふ精神の理にゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十七日

南海部内南有布教所鎮座祭舊十一月十日開筵翌日願 (尙月並祭舊十一日説教舊廿一日鳴物六器御許願)

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう

く、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十七日

甲賀部内見旭出張所月並祭舊十四日説教日舊四日廿四日鳴物御紋御許願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情は、さあくねがひどほりく、さあくゆるしおかうく、さあゆるしおかう。

同日、同部内東澤出張所月並祭舊十四日説教日舊五日廿五日鳴物御紋衣御許願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はさあくねがひどほりく、さあゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十七日

奈良支教會役員岡本久三郎及家族教會内へ移住願

さあく尋ねる事情く、さあ一日の目をもつて尋ねる事情、一つ理一つ心理は末代事情、これよりの精神一つ一日の日の心しようらいの心理、末代ゆるしおかうく、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十八日

兵神部内東條出張所表門改築及土塙修繕願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどほりく、さあくゆるしおかう。

明治三十六年十二月十八日

高安部内難波出張所移轉願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情は前々事情一つ、又一時事情もつてかうといふ理尋ねる、尋ねるにはみなそれく心といふ理あつまりてかうといふであらう、これよりかたる處みなく心どうでもなんでもといふ、みなく精神くの理にゆるそく、さあくゆるしおかう。

同出張所遷座祭十二月廿日移轉祭卅七年一月七日執行願

さあく尋ねる事情はねがひどほりく、さあくゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十八日

湖東部内彦崎出張所春季大祭正月廿一日秋季大祭十月廿一日願（尙月次祭毎月廿一日説教日毎月一日

十一月廿一日鳴物及御紋衣御許願）

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はねがひどほり／＼、さあ／＼ゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十八日

奈良部内萩出張所擔任變更願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つよぎなく又一時事情をもつて尋ねる事情、みな／＼それ／＼心といふ理あつまりてかうといふ、さあ／＼又かはる人といふ、かはる人一つの心どうでもなんでも一つ精神心一つ精神の理にゆるし／＼、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十九日

郡山部内天壘布教所移轉及任用布教所と改稱其上地方廳再願の願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はぜん／＼事情一つ又一時事情をもつてかうといふ理尋ねる、尋ねるには皆それ／＼心といふ理あつまりてかうといふを何たる處、ねがひどほり事情ゆるそ、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十九日

兵神部内武川布教所擔任變更願

さあ／＼尋ねる事情／＼、前々事情一つ又一時事情をもつてかうといふ一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心といふ理あつまりてかうと云ふである、さあこれより一つ事情かはる人一つ心一つどうでもなんでも一つ精神心一つ精神／＼の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十九日

河原町部内門屋布教所設置願

さあ／＼尋ねる事情はねがひどほり、さあゆるしおかう、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情〜すぐさあすぐ。

明治三十六年十二月十九日

北部内金ヶ崎布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜尋ねる事情はねがひどほり〜、さあゆるしお
かう、さあ〜ゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐとさあすぐと。

同日、同部内沼隈布教所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情もつて一つ理尋ね
る、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふである、さあこれよ
りかはる人一つこれよりどうでもなんでも一つ精神心一つ精神の理にゆるそ〜、
さあゆるしおかう。

同日、北部内船井支教會擔任選定願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおか
う、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十九日

高知部内愛吉出張所擔任變更願

さあ〜たづねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つよぎなくといふ、又一時事
情をもつてかうといふ理尋ねる、尋ねるには皆それ〜心といふ理あつまりてかう
といふである、さあこれよりかはる人一つ心これよりどうでもなんでも心精神一つ
心精神の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

同日、高知部内吉明出張所擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情もつてかうといふ
て、一つ理尋ねる、尋ねるにはみな〜それ〜心と云ふ理あつまりてかうと云ふ
である、さあこれよりかはる人心一つこれよりなんでもどうでもといふ一つ精神心
一つの精神の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月十九日

島ヶ原部内山形支教會擔任變更願

さあ〜尋ねる事情、尋ねる事情は前々事情一つよぎなく又一時事情をもつてかうといふて一つ理たづねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうと云ふてあらう、これよりかはる人かはる人心一つどうでもなんでもこれからといふ精神一つ精神の理にゆるそ、さあ〜ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十一日

山名分教會教祖殿及客室其他附屬建物新築願

さあ〜尋ねる事情、尋ねる事情はねがひどほりゆるしおかう、さあ〜みな心だけ〜ゆるすて、さあゆるしおかう。

木造り出来次第上棟式執行願

さあ〜尋ねる事情〜、さあ〜ねがひどほり、さあ心おきなうかゝるがよいて、ほつ〜とかゝるがよいて、ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十一日

兵神部内帳向布教所事務取扱所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうと云ふて一つ理たづねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうと云ふてある、さあかはる處みな〜これよりの精神どうでもといふ精神の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

同出張所移轉式来る二月廿日入社祭毎月廿日靈祭及説教毎月三日御紋鳴物願

さあ〜尋ねる事情〜、ねがひどほりゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十一日

船場部内日明布教所擔任及家族布教所へ移住願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は一日の日をもつて尋ねる事情一つ心一つ理心將來〜といへは理末代とも云ふ、一日の日の心しようらい事情一日の日の心しようらい心の理ゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十一日

敷島部内加太布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐとさあ〜すぐと。

明治三十六年十二月二十一日

甲賀部内久々里出張所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるには皆それ〜心と云ふ理あつまりてかうと云ふてある、さあかはる處みな〜なんでもといふ理精神どうでもといふ精神の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

同日、同部内西万布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、事情はねがひどほり、さあゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ、さあすぐと。

同日、甲賀部内新郷布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり、さあ〜ゆるしおかう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情はすぐ〜さあすぐと。

同日、甲賀部内磐梯布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情さあ〜ゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十一日

鳥ヶ原部内荒砥布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ〜又一時事情をもつ

てかうといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心といふ理あつまりてかうといふてある、かはる處これよりみな／＼精神これよりどうでもかうでもといふ精神／＼の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十二日

旭日支教會來る舊世三日鎮座祭翌新築落成奉告祭願（尙月次祭舊十五日の處廿四日に、入社祭舊五日の處

十五日に、靈祭舊一日の處五日に變更、奉告祭當日信徒へ御酒御供折詰辨當施與願）

さあ／＼尋ねる事情／＼、事情はねがひどほり／＼、さあ／＼ゆるしおかう、さあゆるしおかう

明治三十六年十二月二十二日

郡山郡内泉南支教會長變更願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情をもつてかうと云ふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心と云ふ理があつまりてかう云ふてあるか、かはる處一つ人事情心一つ精神これより精神どうでもなんでも一つ心精神心

一つ精神の理にゆるそ／＼、さあ／＼ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十二日

山名郡内八名布教所擔任變更願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つよぎなく又一時事情をもつてかうといふ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心といふ理あつまりてかうといふてある、かはる人どうでもなんでも一つ心精神どうでもなんでも一つ精神理にゆるそ、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十二日

山名分教會理事渡邊幸作家屋一棟普請願（間口六間奥行三間前後庇附便所一つ手斧始卅七年一月十三日石

搦一月廿日木造出來次第上棟式執行願）

さあ尋ねる事情／＼、尋ねる事情さあ／＼ねがひどほりにゆるそ／＼、さあ／＼ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十二日

北部内吉野出張所新築願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はねがひどほり、さあ／＼心だけゆるしおかう／＼、さあ／＼ゆるしおかう。

木造り出来次第上棟式願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情はさあ／＼ゆるしおかう／＼、さあ／＼ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十二日

撫養部内都濃出張所へ擔任及家族移住願

さあ／＼尋ねる事情／＼、一日の日をもつて尋ねる事情、一つ心理一つ心しようらい／＼と云へば理末代とも云ふ、みな／＼心の理あつまりてかうといふてある、一日の日の心しようらい心の理にゆるそ／＼、さあ／＼ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十二日

梅谷部内棚倉出張所鎮座祭十二月廿四日夜開筵式翌日願 (當日信徒へ御供施與願)

さあ／＼尋ねる事情／＼、事情はねがひどほり／＼、さあ／＼ゆるしおかう、さあ／＼ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十二日

島ヶ原部内紫波出張所移轉願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つさあ又一時事情をもつてかうといふ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ／＼心と云ふ理ありあつまりてかうと云ふてある、さあかはる處みな／＼これより精神どうてもかうても精神みな／＼精神の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十二日

西部内花園布教所設置願

さあ／＼尋ねる事情／＼、事情はねがひどほり、さあ／＼ゆるしおかう／＼。

さあ／＼尋ねる事情はすぐ／＼さあ／＼すぐと。

明治三十六年十二月二十二日

諸井國三郎六十四歳身上願

さあ／＼尋ねる／＼／＼、尋ねる事情／＼、さあ／＼どうなりてかうなりてどうもならん／＼、ならんから一ツ尋ねる、尋ねるから又一ツ事情理さとする、いかなる事もき、わけくれにやわかりがたないで、身上に一ツ事情心におもふ、心一ツ事情なによの事も身上にかゝりてからどうもならん、たへるにたへられん身上のくるしみ、一ツの理の苦しみ、心にかゝりてなによ事おもふ事情よくき、わけ、年限これ一つ／＼ゆびをりかぞへて、一つ心を休めてくれにやならん、ねん／＼年限／＼、道筋／＼身上一ツ十分の理、そこで一ツ思ひ／＼の日を通る、多くの中に事情一ツどうもならん、そこで理また一ツ、又さのみおもふたこれ事情理、道筋の理である、なつてもならいでもなによの事もどういふ理、この心のをさめたる、そこでし

ばらく思ふ中に又ころりとまちがふ、これどうもならん、さあ／＼國始め一ツ道の理のだいをさとしおかう、この道の中はかうなつてもどうなつてもこれ三歳の小供といふ心になつてくれにやならん、此理一日の中に事情早く事情さとしてやつてくれ、さあ又たのしみなくして通れるものやない、さあくるしみもしばらくといふ、そこでようき、わけ、ことしにてければ來年、來年で出來ねば又來年、ねん／＼かさなりたらたのしみといふ、年がかさなるほどたのしみ、此理よくき、わけ、此理早くつたへてくれ、一時身上たいそうといふ、さあ心道といふ、これたのしみといふ、たのしみ／＼の道を造りあげた道、いつになりても萬劫末代といふ、一ツ心一人の名は消えやせんと、皆々心にも同じ事、理一ツさとしおいたる、よくき、わけ、さあ／＼身の處早く、一ツさあやすませ／＼、どうなつてもかうなつてもなるもいんねん、ならんもいんねんならぜひはないといへばどうもならん、身上あんじ

押して、諸井國三郎の娘縁談の事でも御知らせ被下ます哉願

さあ／＼なによの事も一時身上といふ、ひるもよるもわかりがたないで、どうするかどうもならん、そりやはた／＼の心にをさめてくれにやならん、これたのしみといふ心をもつてくれ、さきをあんじる事はいらん、あんじたぶにやならん、さあ身上どうかう身の處かゝりて、そこらの内もたづねてみな／＼心といふ、どうかう内もある、此中にもある、さあこの理ようきゝわけてくれ、神の子供に不自由ささうなんぎささうといふ親はあるか、此理よくきゝわけ、何よの事もあらためてくれにやならん。

明治三十六年十二月二十三日

郡山郡内富江出張所擔任變更願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうと云ふて一つ理尋ねる、尋ねるには皆それ／＼心といふ理あつまりてかうといふてある、さあこれよりかはる人と云ふ人の一つ心精神これよりどうでもなんでもと一つ精神心一つ精神の理にゆるそ／＼、さあ／＼ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十三日

郡山郡内豊秋出張所擔任變更願

さあ／＼尋ねる事情／＼、前々事情一つさあ／＼又一時事情を以てかうといふ一つ理尋ねるもみなそれ／＼心といふ理あつまりてかうといふてある、これより人かはるの理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

同日、同郡内朝海出張所移轉願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時の事情もちてかうといふ一つ理尋ねる、尋ねるはみなそれ／＼心と云ふ理もちて尋ねる事情、さあこれより一つかはる處、かはる處はみなこれよりの精神これよりの精神の理にゆるそ／＼、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十三日

山名郡内周准布教所移轉願

さあ／＼尋ねる事情／＼、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてか

うといふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれく心といふ理あつまりてかうといふてある、かはる處これよりどうでも精神なんでもどうでもと云ふ精神の理にゆるそ、さあゆるしおかう。

同布教所新築願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどりゆるしおかう、さあくみなく心だけくゆるそ、さあゆるしおかう。

同日、同部内浮島布教所鎮座祭州七年正月十二日執行願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどりくさあゆるしおかうく。

同日、同部内西遠布教所入社祭毎月書四日説教毎月十二日廿二日鳴物六番鎮座祭來年一月四日開筵式翌日旗提燈立て、當日赤飯御許願

さあく尋ねる事情く、尋ねる事情はねがひどり、さあくゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十三日

高安部内長野支教會長辭任し目下適任者なき故高安分教會長兼務願

さあく尋ねる事情くは前々の事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうと云ふて一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれく心といふ理あつまりてかうと云ふてある、さあ一つ事情たづねる、これよりかはる處しばらくくしばらくのあひだゆるそく、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十四日

本部屋敷土持御許願

さあく尋ねる事情く、さあくやしきの土持ほうとはじめかけ、なにようどういふ事尋ねにやわからんく、みなくの心もあつまりてみれば、又一つ事情いつからかうどう事情、さあくいつなりともはじめかけるがよい、さあく事情心といふ、世界からかうといふなくばならん、心のように一日の日も千日にむかうといふ事まだあるかいなあと、世界に一つ理を込めさせにやならん。

明治三十六年十二月二十四日

東部内西岩機布教所設置願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十四日

甲賀部内中島出張所増築願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほりゆるしおかう〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十四日

梅谷部内添上布教所移轉願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はぜん〜事情一つ、さあ又一寸と事情をもつてかうといふ一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふである、さあかはる處みな〜これより精神一つどうでも精神の理にゆるそ

〜、さあゆるしおかう。

同日、同部内北極出張所移轉及擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情をもつてかうといふ一つ理尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふである、かはる一つ事情當分事情願ひどほりゆるそ〜、さあゆるしておかう。

明治三十六年十二月二十四日

宇佐部内城原布教所移轉及擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ、さあ又一時事情もつてかうといふ一つ理たづねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふである、かはる一つ事情當分事情ねがひどほり〜ゆるそ、さあ〜ゆるしておかう。

明治三十六年十二月二十五日

芦津部内小濱出張所新築願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情はねがひどほり〜ゆるしおかう、心だけ
〜みなく〜心だけいさんだ理、心だけゆるしおかう、さあ〜ゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十五日

櫻井部内伊都支教務擔任變更願

さあ〜尋ねる事情〜、尋ねる事情は前々事情一つ又一時事情もつてかうといふ
理あつまりて尋ねる、尋ねるにはみなそれ〜心といふ理あつまりてかうといふ
ある、まあしばらくの處かはる處ねがひどほりゆるそ〜、さあゆるしおかう。

明治三十六年十二月二十六日

兵神部内美々津布教所設置願（擔任武仲薫）

さあ〜尋ねる事情はねがひどほり〜、さあ〜ゆるしおかう、さあゆるしお
かう。

本局添書下附次第地方廳出願の願

さあ〜尋ねる事情すぐさあ〜すぐと。

昭和五年六月廿二日印刷
昭和五年六月廿六日發行



編纂者 奈良縣山邊郡丹波市町大字三島二七一番地
天理教教義及史料集成部

發行者 奈良縣山邊郡丹波市町大字三島二七一番地
中山正善

印刷所 奈良縣山邊郡丹波市町大字川原城三〇九番地
天理教教廳印刷所

印刷者 奈良縣山邊郡丹波市町大字三島三一二番地
植田五郎

終

